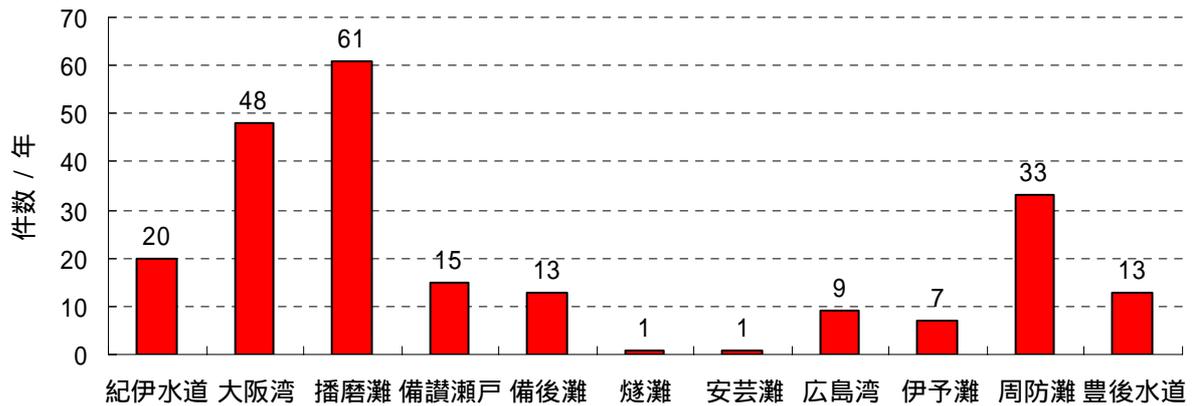


瀬戸内海における湾灘別の赤潮発生状況について

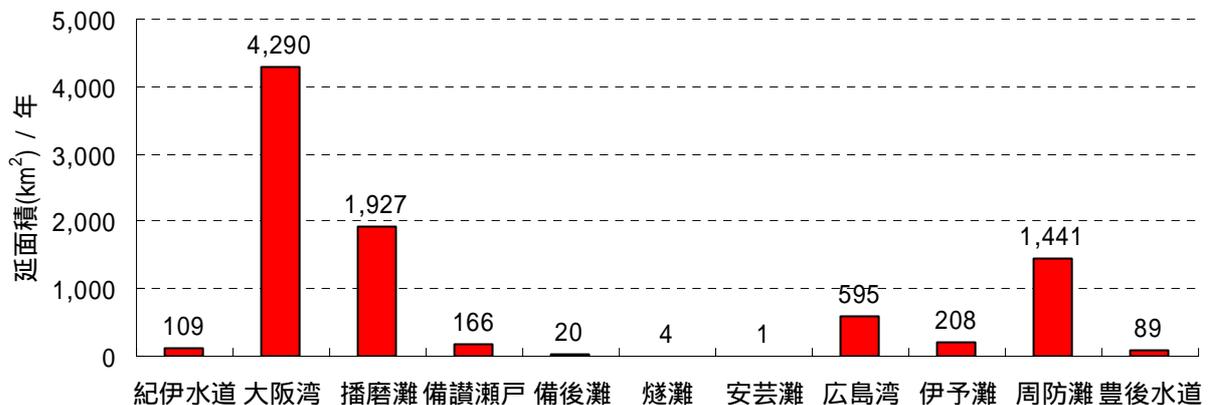
平成15年における瀬戸内海の赤潮発生状況について、湾灘別の件数、延赤潮面積、水域面積当たりの件数及び水域面積当たりの延赤潮面積を整理した結果を下図に示す。水域面積当たりの延赤潮面積は、大阪湾が特に大きな値となっている（図-4参照）。



出典：瀬戸内海漁業調整事務所

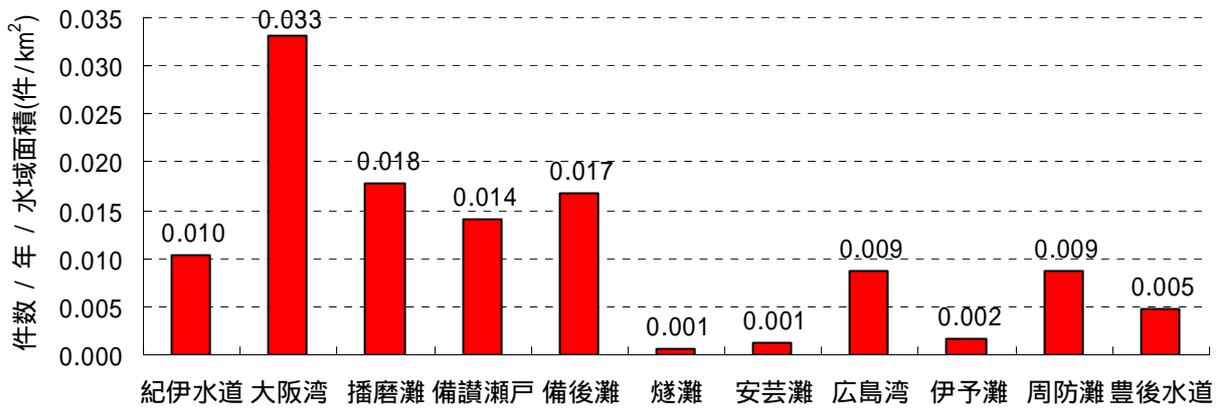
注：赤潮が複数の湾灘にまたがる場合、発生件数はそれぞれの湾灘に計上されている。このため、各湾灘の発生件数の合計は、瀬戸内海全体の発生件数と一致しない。

図-1 湾灘別・赤潮発生件数（平成15年）



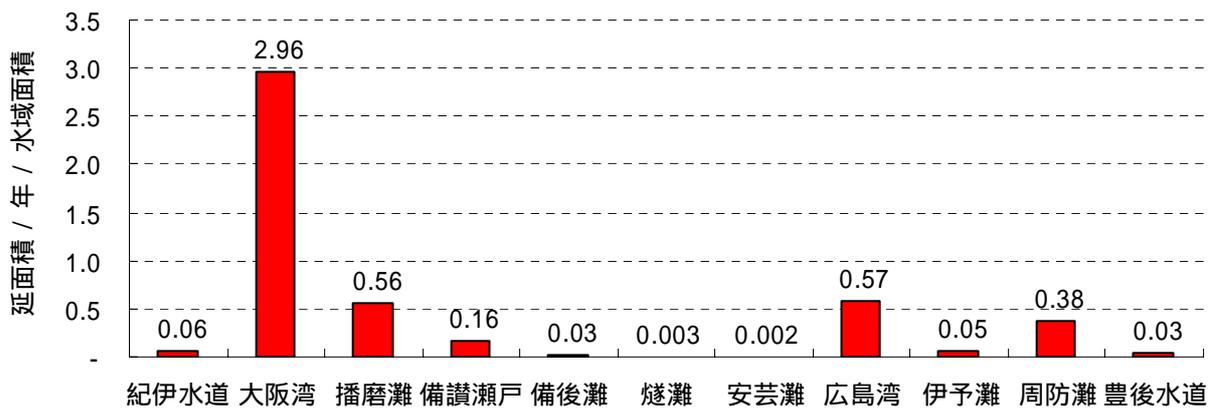
出典：瀬戸内海漁業調整事務所の資料をもとに環境省で作成

図-2 湾灘別・延赤潮面積（平成15年）



出典：瀬戸内海漁業調整事務所の資料をもとに環境省で作成

図 - 3 湾灘別・水域面積当たりの赤潮発生件数（平成15年）



出典：瀬戸内海漁業調整事務所の資料をもとに環境省で作成

図 - 4 湾灘別・水域面積当たりの延赤潮面積（平成15年）